

漢方・鍼灸だより No.20

発行日：2023年6月1日 / 発行人：新井 信 / 編集：東海大学医学部付属病院東洋医学科

ためして漢方！

その20

感染症後 続く咳



Q 新型コロナウイルスに感染後から、のどがいがらっぽく、少しの刺激で咳が出たり、痰が多かったりします。1年近く経つのですが、すっきり治りません。咳や痰を鎮める漢方がありますか？

(50歳、女性)

A 新型コロナウイルス感染症の後遺症について、WHO（世界保健機関）は「新型コロナウイルスに罹患した人にみられ、少なくとも2カ月以上持続し、また、他の疾患による症状として説明がつかないもの」と定義しています。代表的な症状として、厚生労働省は、疲労感・倦怠感、関節痛、筋肉痛、咳、喀痰、息切れ、胸痛、脱毛、記憶障害、集中力低下、頭痛、抑うつ、嗅覚障害、味覚障害、動悸、下痢、腹痛、睡眠障害、筋力低下などをあげています。そのうち、最も多い症状は倦怠感で、後遺症患者の50%以上にみられ、続いて息切れ、味覚障害、集中力低下が多く、咳も約20%にみられます。

漢方薬を選ぶ時には、原因が新型コロナウイルス感染症の後遺症かどうかにかかわらず、患者に現れている症状やサインが重要な指標になります。咳や痰に対しても、どのようなタイプの咳か、痰の性状はどうか、息切れがあるかなどによって漢方薬を使い分けます。

新型コロナウイルス感染後にみられる咳は、多くが痰の少ない、いわゆる乾性の咳です。特に、のどに痰がからまって取れない、息を

吸いにくい、不安感が強いなどの症状を訴える人が多く、**半夏厚朴湯**をよく用います。さらに熱っぽいなど、かぜのような症状が残っていれば**柴朴湯**にします。また、のどがいがらっぽくて発作性に顔を真っ赤にして咳き込み、最後に吐きそうになる**空咳発作**は**麦門冬湯**の適応です。夜間にのどの奥が乾燥して咳が出る人には**滋陰降火湯**、喘鳴と発汗を伴って激しく咳き込む人には**麻杏甘石湯**がよいこともあります。

痰が多い湿性の咳の場合、何となく胸苦しくて気分がさっぱりしない人には**参蘇飲**が効きます。夜間に咳や痰が多くて安眠できなければ**竹筴温胆湯**、粘稠で切れにくい濃い痰が多く出れば**清肺湯**、咳が激しくて胸にひびいて痛むようなら**柴陷湯**を試してみるとよいでしょう。

あなたの場合、新型コロナウイルス感染から1年近く経っても気道が過敏な状態が続いています。痰が多いとおっしゃっていますが、まずは後遺症の咳によく用いる**半夏厚朴湯**や**柴朴湯**を飲むことをお勧めします。痰がかなり多いようなら**参蘇飲**の方がよいかもしれません。

(新井 信)

救心製薬株式会社 情報誌「はあと」より引用



第67回オンライン漢方教室



漢方
鍼灸

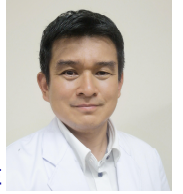


詳しくは「東海大学医学部漢方医学」ホームページをご覧ください。
<http://kampo.med.u-tokai.ac.jp/>

「漢方教室」は、2005年から年4回、毎回タイムリーなテーマで開催し、漢方と鍼灸で分かりやすくお話してきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、第60回からはオンラインで開催しています。第67回は「**月経にまつわる症状に効く漢方 ~月経困難や更年期障害が楽になる~**」というテーマで、YouTubeでご覧になることができます。上記の専用QRコード、「東海大学医学部漢方医学」ホームページからアクセスしてください。



漢方医学の基本理論 ~「厥陰病」について~



今回のテーマは「^{けっちんびょう}厥陰病」です。六病位は病気を発症直後から死亡するまで6つのステージに分ける考え方ですので、最後の^{けっちんびょう}厥陰病は生死の際の状態とってよいと思います。

漢方医学の重要な古典である『傷寒論』には、この「^{けっちんびょう}厥陰病」について「喉が渴いてしきりに水を飲み、その割に小便は出ず、気が上昇して心突き、胸の中央に痛みと熱感を覚え、飢えるが食事が出来ず、食べればすぐに吐いてしまい、下痢は止まらない」と書いてあります。^{けっちんびょう}厥陰病の患者では、脈はほとんど触れず、腹部は軟弱無力で、舌は委縮し苔が全くないか、逆に褐色や黒色の汚らしい苔が厚く付着した状態になっています。生体の反応が乏しくなり、ほとんど生命が尽きかけ

ている病態とってよく、現在西洋医学でプレシヨックと呼ばれる病態に類似します。そんなときでも漢方医学はあきらめません。起死回生の一手があります。四逆湯類の出番です。附子、乾姜、甘草を中心としたこの処方群は体を温め生命力を賦活する作用があります。四逆加人参湯、茯苓四逆湯、通脈四逆湯、通脈四逆加猪胆汁湯などを四逆湯類と呼び、病態に応じて使い分けます。^{けっちんびょう}厥陰病まで落ち込むとかなり難治ですが、これらの漢方薬を用いることで、体が温まり下痢は止み尿が出るようになって、元気を回復することがあります。医療用漢方エキス製剤として薬価収載はされていませんが、四逆湯類は是非、知っておきたい処方群です。

(野上達也)

鍼灸治療のご紹介 ~新型コロナウイルス後遺症~



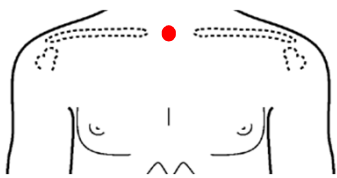
新型コロナウイルスの感染拡大が一旦落ち着き、以前の生活を取り戻しつつある現在でも、後遺症に悩まれている方も多いと言われています。未だに確立した治療法がないのが現状ですが、倦怠感、喉の違和感、集中力の欠如、嗅覚障害などに対しては、鍼灸治療が

功を奏した例もあります。

実際、治療に用いる経穴（ツボ）をご紹介します。

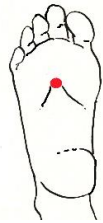
- <喉の違和感> ^{てんとつ}天突 ^{たいしょう}太衝
- <倦怠感、集中力の低下> ^{ゆうせん}湧泉 ^{あしさんり}足三里
- <嗅覚異常> ^{げいこう}迎香 ^{ごうこく}合谷 ^{たいえん}太淵

天突
(てんとつ)



鎖骨と鎖骨の間

湧泉
(ゆうせん)



足の裏ほぼ中央

迎香
(げいこう)



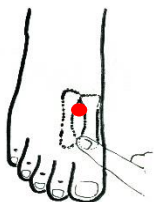
鼻翼の外側中央

太淵
(たいえん)



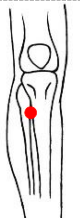
手首の内側にある横ジワの親指側の端で動脈の拍動が触れるところ

太衝
(たいしょう)



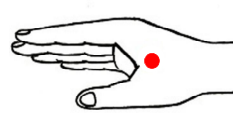
足の親指と人差し指の付け根から、足首の方向へ指で押し上げて指が止まる場所

足三里
(あしさんり)



膝の下のすねの上に突起した骨の下縁から外側指2本分のところ

合谷
(ごうこく)



手の甲側で、親指と人差し指を合わせてできるふくらみの中央



(山中一星、高土将典)

* 鍼灸治療は自費診療 (1回6,000円+税)となります